

水戸市中心地区の将来空間像
「多様な人と空間が交わる「創造空間」」
の提案

水戸常磐広域ビジョン研究
水戸市中心地区の将来空間像 学生提案発表会

2016年8月19日(金)

東京大学工学部 都市工学科
水戸常磐輪講 有志学生チーム

1. 発表の趣旨、背景
2. 水戸常磐地域の広域分析
3. 提案コンセプト
4. 水戸中心地区の将来空間像
 - 4-1. クリエイティブ・リンク
 - 4-2. クリエイティブ・コア
5. 運営システム

1. 発表の趣旨、背景

- ・「水戸常磐広域ビジョン研究」では、夏学期に水戸常磐地域の広域的な空間像について分析を行いました。
- ・冬学期においては、地域のゲートウェイ都市である水戸市の中心地区の将来空間像について検討しました。

水戸常磐地域の広域分析

空間コンセプト案: クリエイティブ回廊

- ・ 笠間焼の発展モデル
 - 伝統にとらわれない自由な気風
 - 全国から若手が集まり、研鑽を積む
 - 陶芸の新しい実験が誕生
- ・ Arts & Foods
 - アート、スイーツ、ミュージック、スポーツ
 - 水戸市内、劇団を若手の研鑽の場に
- ・ Knowledge-based industry
 - 人材育成:
 - (例) 沼島高等(いわき市)、茨城高等(ひたちなか市)を基に、スーパーサイエンス高等教育機関(世界の大学院へ)
- ・ Nature Experience
 - アウトドアスポーツの聖地に(トレッキング(修験の道)、キャンプ、カヌー、フィッシング、サーフィン等)



水戸市中心地区の将来空間像提案

【本日の発表の内容】

- ①水戸市に関する調査・分析の結果
- ②水戸市中心地区の将来空間像提案
- ③実現に向けての政策提案

- ・ 本発表会では、東京で都市空間について学ぶ学生の目線から、地域の活性化に向けた提案をさせていただきます。
- ・ また、夏学期の分析結果に基づき、水戸常磐広域圏の地域構造を踏まえた提案をさせていただきます。

水戸の外からの視点

東京、関西、海外など、他の都市での生活者、他の地域出身者から見た際の水戸の魅力や課題を踏まえた意見、提案

学生・若者としての視点

未熟であるがゆえに斬新な意見、提案
今の世代の若者にとって魅力ある水戸を作るための意見、提案

「都市空間」に関する視点

対象地域内の地理的構造を踏まえた、即地的な提案
中核施設だけでなく、その周辺の地区も踏まえた面的な提案



水戸常磐広域圏に関する視点

広域的な人口流動、産業構造、生活サービス、
地域の歴史、文化やイメージを踏まえた提案

- ・ 10～11月に、水戸常磐地域自治体へのインタビュー調査と追加の現地視察調査を行いました。
- ・ 12～2月に、水戸市中心地区に関する輪講、インタビュー調査、現地視察調査を行いました。

水戸常磐地域の広域分析

- ・ 学生による輪講(4～7月)
 - ・ 水戸常磐地域に関する文献研究
 - ・ 水戸常磐地域に関するデータ分析
 - ・ 水戸常磐地域の将来空間像に関するディスカッション
 - ・ 海外の広域計画に関する文献研究(ロンドン・プラン)
- ・ 自治体インタビュー調査(5月、10～11月)
 - ・ 茨城県庁、いわき市、日立市、ひたちなか市、笠間市、小美玉市、大子町
- ・ 現地視察調査(6～8月、10～11月)
- ・ 水戸市役所との意見交換会(8月)

水戸市中心地区の将来空間像提案

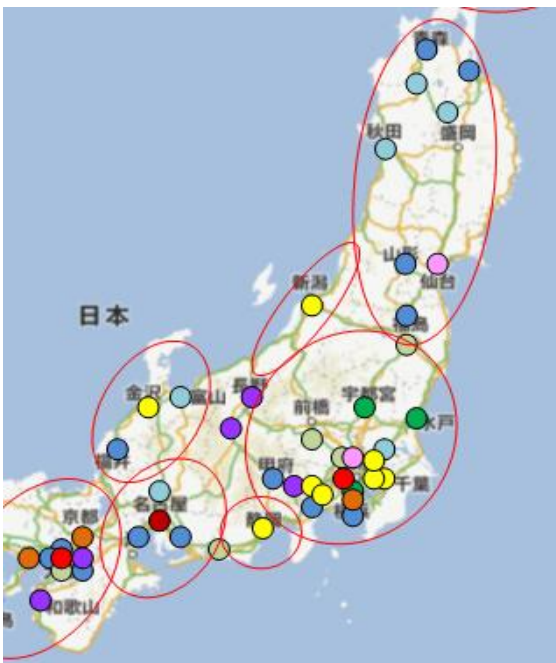
- ・ 学生による輪講(12～2月)
 - ・ 水戸市中心地区に関する文献研究
 - ・ 水戸市中心地区に関するデータ分析
 - ・ 水戸市中心地区の将来空間像に関するディスカッション
- ・ 水戸市役所インタビュー調査(12～1月)
 - ・ 商工課、公園緑地課、芸術館、政策研究会
- ・ 水戸市まちづくり関係者インタビュー調査(12～1月)
 - ・ 水戸商工会議所、水戸青年会議所、まちなか情報交流センター、など
- ・ 現地視察調査(12月～1月)
- ・ 学生提案発表会(2月)

2. 水戸常磐地域の広域分析

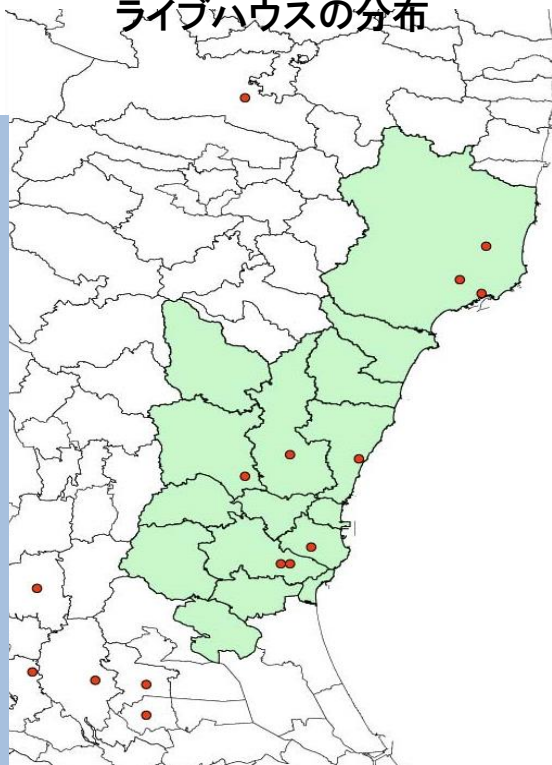
水戸常磐地域の若者が集まる水戸市

- ・ ゲートウェイとして水戸： 若者を育てる役割を担っている。
- ・ 弘道館以来の教育文化。教育施設が集積
- ・ 水戸の文化発信機能

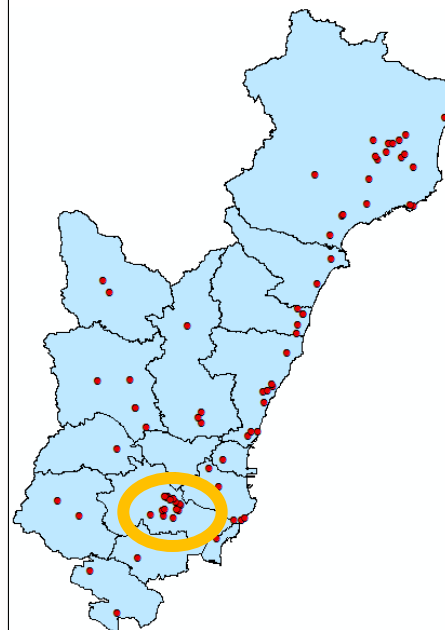
ブランドショップの分布



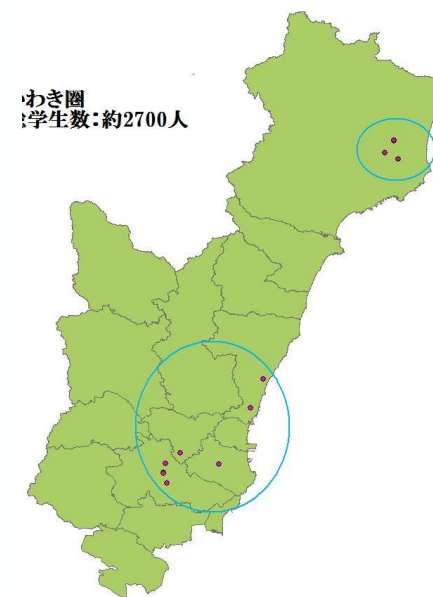
ライブハウスの分布



高校の分布



大学・高専の分布

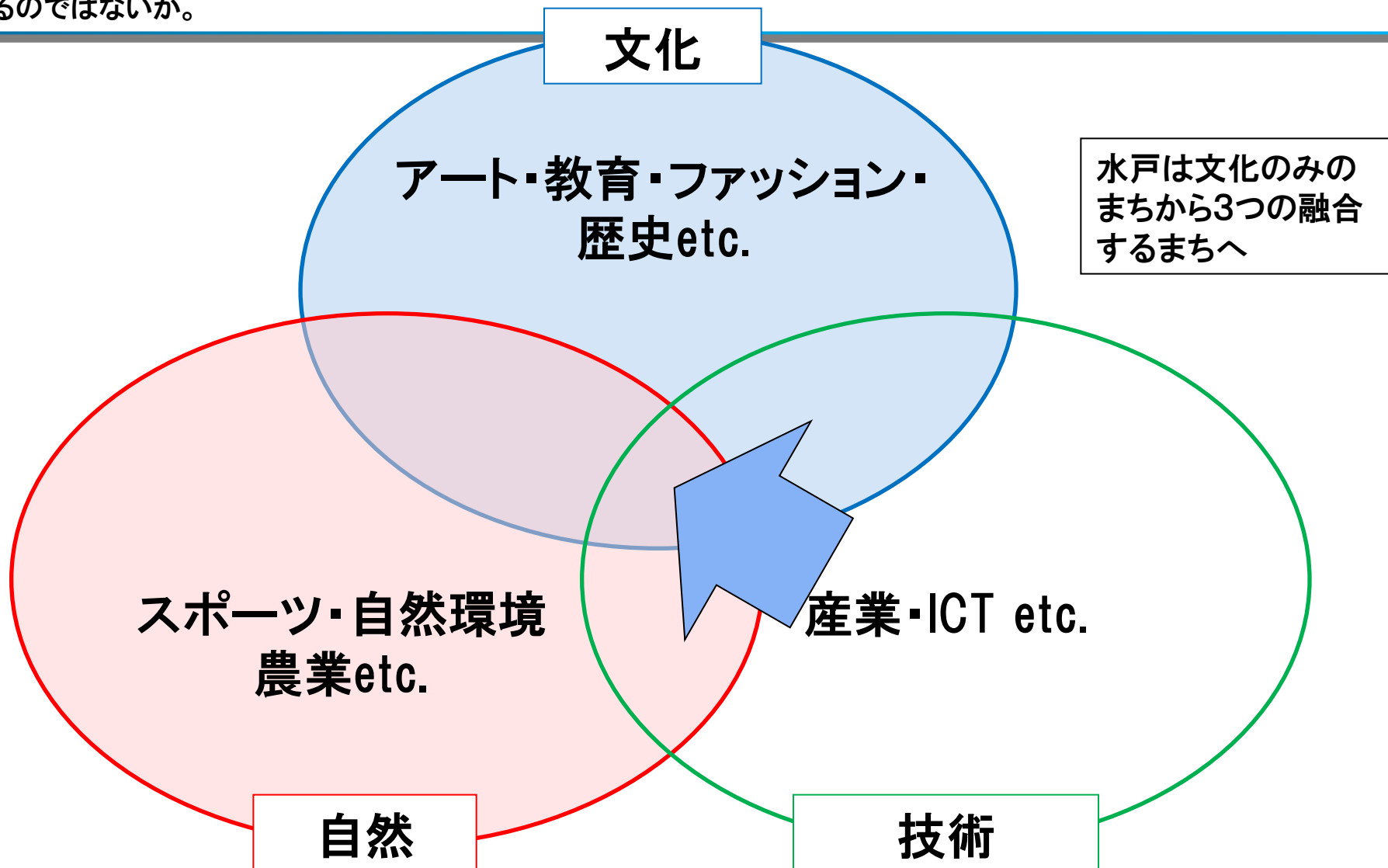


高校の数	高校	大学	高専	合計
水戸常磐地域計	77	8	2	87
うち水戸市	16	3	0	19

- 水戸常磐地域は、日立製作所に代表される県北・いわき地域の産業が地域の経済成長をけん引している。



- ・ 常磐地域は、文化、自然、技術という多様な要素が近接して存在していることが特徴である。
- ・ 現在、水戸は文化と自然が集積するまちだが、技術を集積させることで、多様な要素が交わる拠点となることができるのではないか。



3. 提案コンセプト

- 多様な人と空間が、技術を介して交わることにより、創造的な若者が育つ空間が生まれる。
- 水戸においても、異なる性格を持った地域同士を繋ぐことや、交わりの空間を作ることが重要となるのではないか。

多様な人と空間が交わる「創造空間」

AR(拡張現実)・MR(複合現実)

まちなかのイベントや創造活動が1年中
体感でき、毎日お祭りを楽しめる仕組み

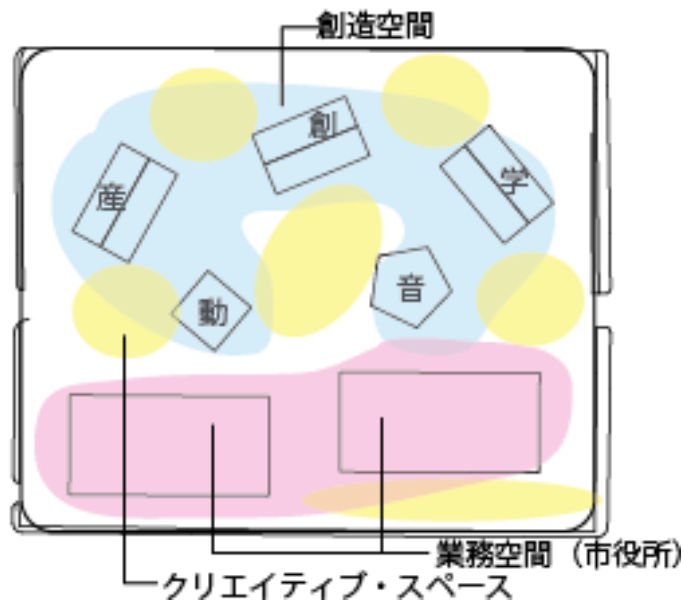


学習・体験・技術

子ども、若者が遊びながら、自然と技術を身につけて、創造活動が発生する学習の仕組み



- ・ 様々な創造的な活動を行うために必要な、多様な設備や学習環境が、近接して配置されている。
- ・ 一人一人が自由に遊んだり、人の遊びから刺激を受けることができる。



「学」・・・課外教育支援

科学、デジタルアート・ムービー、
絵画、音楽、調理、スポーツ等の
専門的かつ実践的な体験学習の
環境を整備。

「創」・・・デジタル・アートラボ

創作活動の発展の場を提供

「産」・・・実験・調理室

新しい製品や技術を生み出す場
を提供

「動」・・・スポーツ

スタジオや筋力トレーニング機材
を整備し、活動の種類を超えた利
用を可能にする

「音」・・・音楽ホール

練習の場だけでなく、ミニコンサ
ートも開催できる機能を備える

4. 水戸中心地区の将来空間像

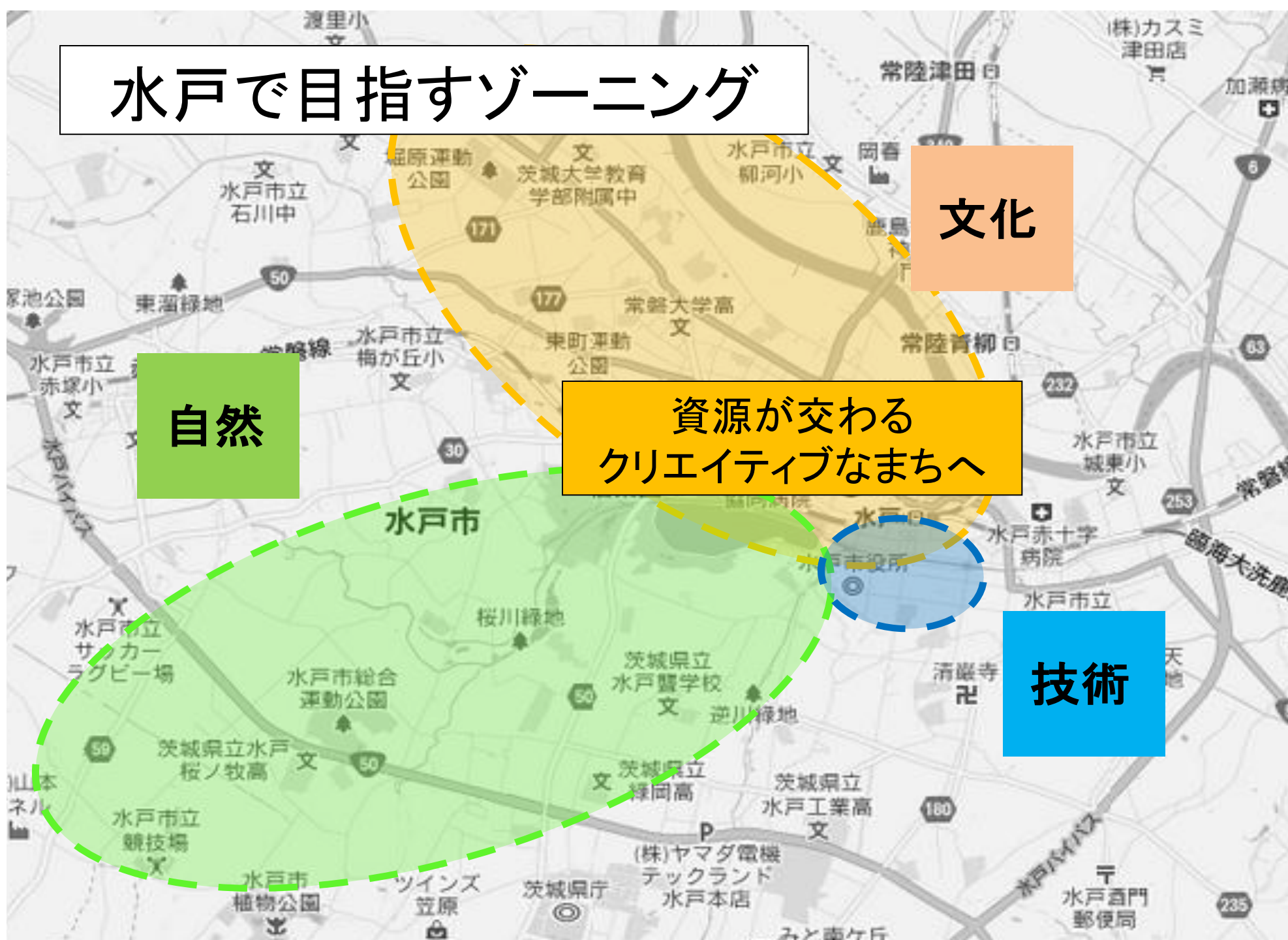
水戸で目指すゾーニング

文化

自然

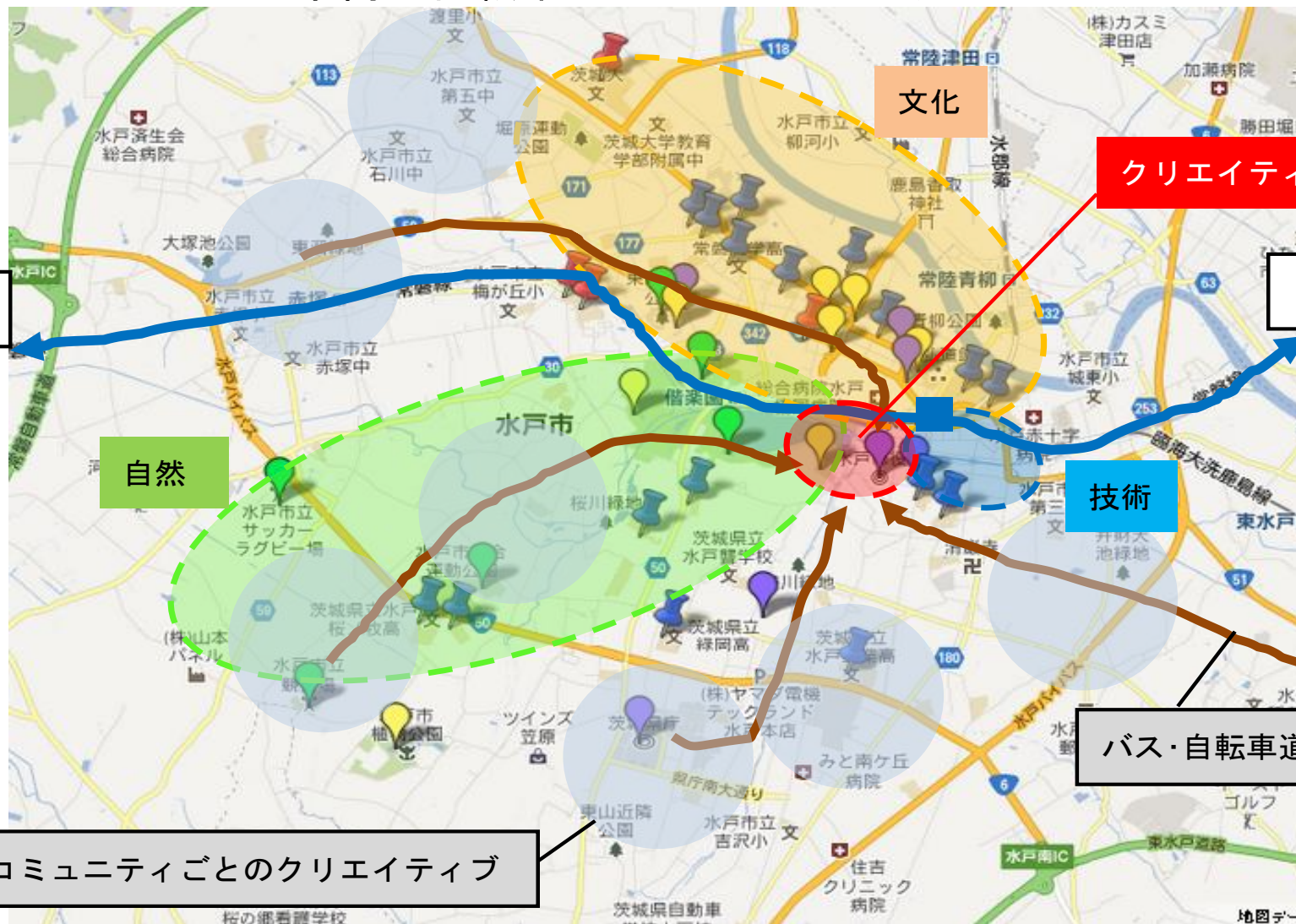
資源が交わる
クリエイティブなまちへ

技術



全域の目標

- コミュニティ規模でのクリエイティブな活動を促進。その核として学校・公民館を利用し、クリエイティブ・プレイスに。
- より広域的・大規模な活動は中心市街の施設へ。周辺部と中心市街は自転車・バスのネットワークでつながる



つくば

自然

文化

クリエイティブ・コア

日立・東海・勝田

技術

バス・自転車道でつなぐ

コミュニティごとのクリエイティブ

中心部の現状

文化

文化・自然の資源が豊富
⇔ 技術的資源がない

自然

人の流れが限定され
交わりが少ない



既存の動線・滞留

中心部での施策

クリエイティブ・リンク

異なる資源を持つエリアを軸でつなぐ

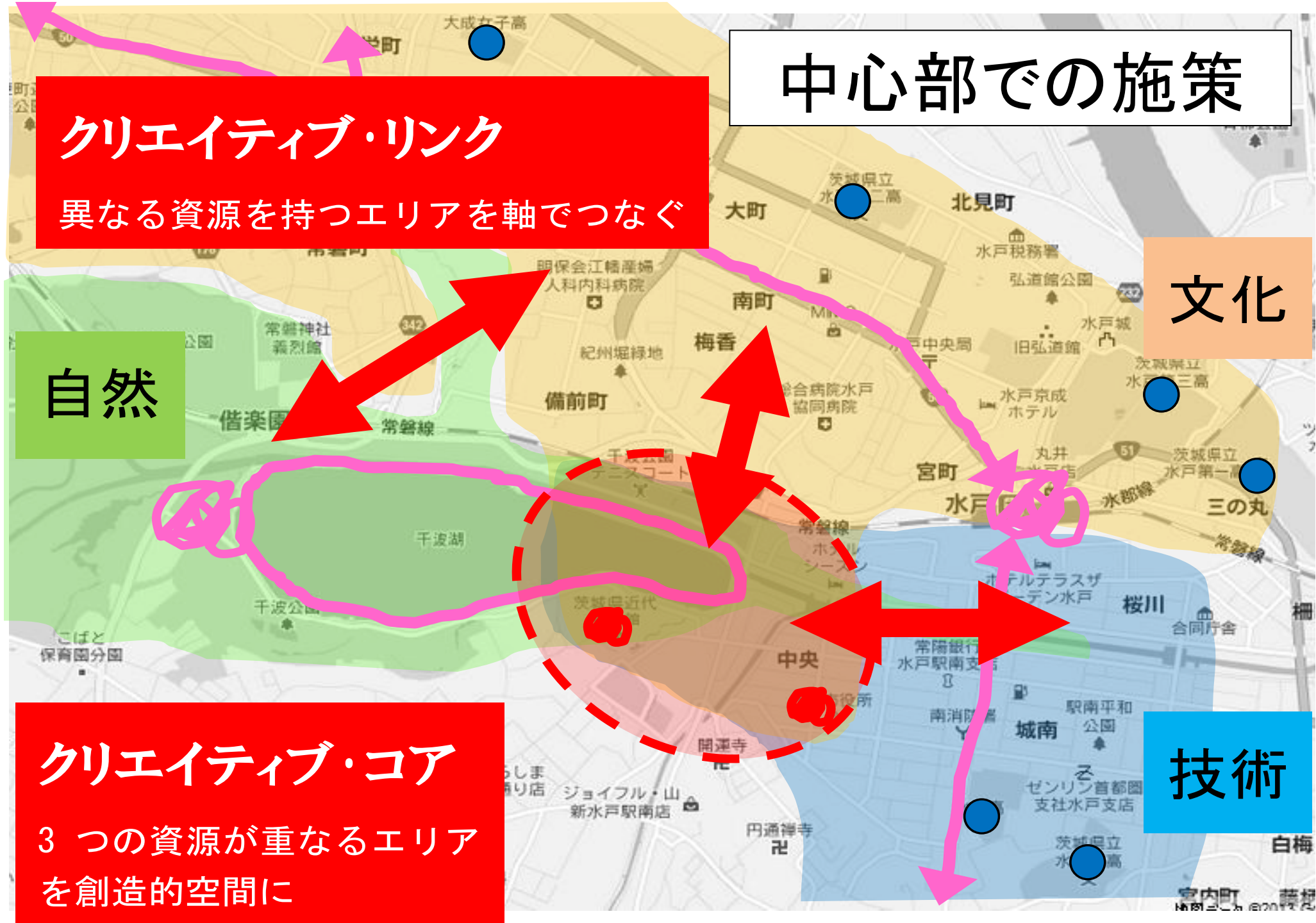
自然

文化

技術

クリエイティブ・コア

3つの資源が重なるエリア
を創造的空間に



4ー1. クリエイティブ・リンク

クリエイティブ・リンクの経路

水戸芸術館

各エリアをつなぐとともに、
クリエイティブ・コアへ人を流す役割

グリーンライン

アーティスト通り

ミュージアム
トリート

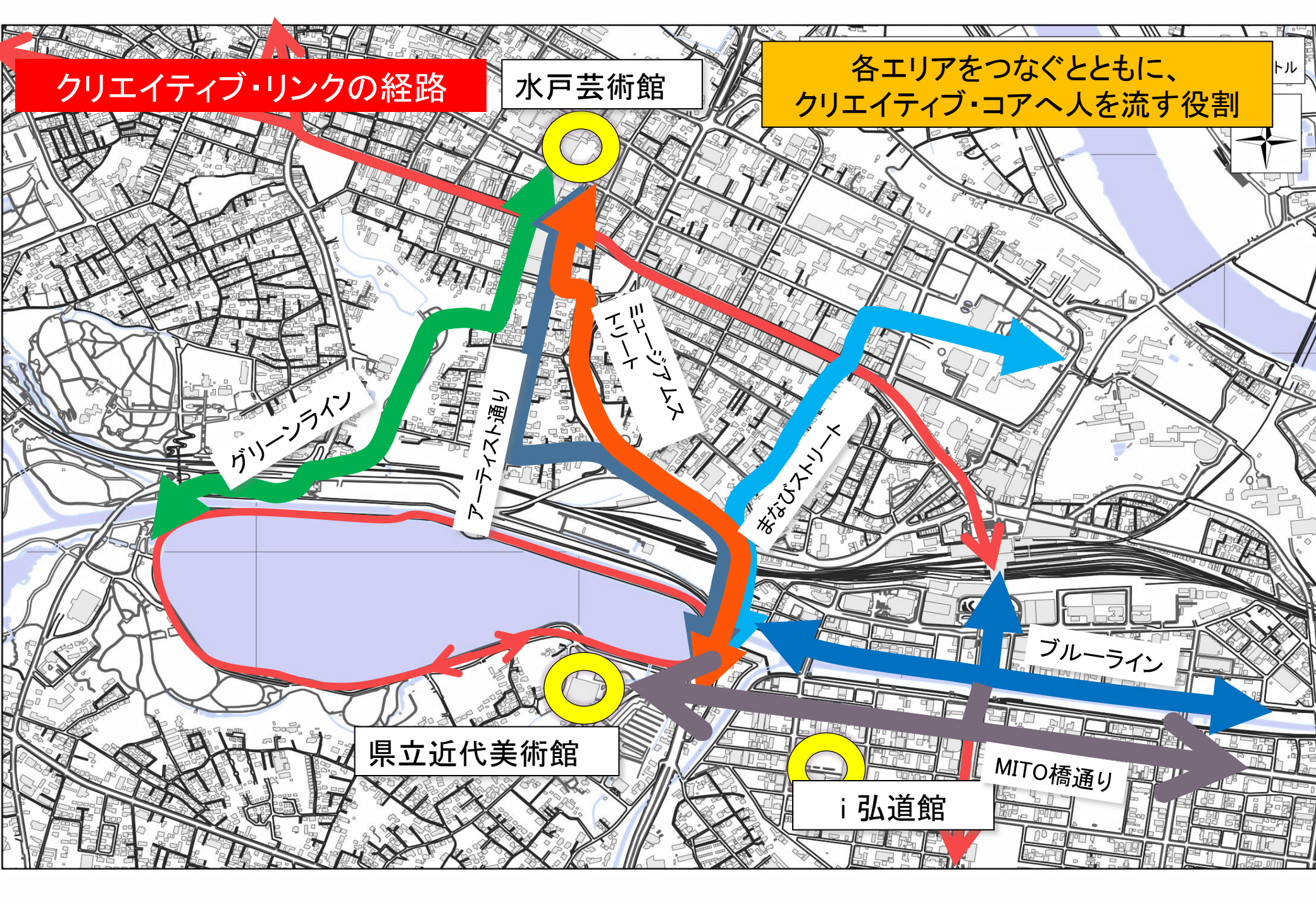
まなびストリート

ブルーライン

県立近代美術館

i 弘道館

MITO橋通り



クリエイティブ・リンクをつくる

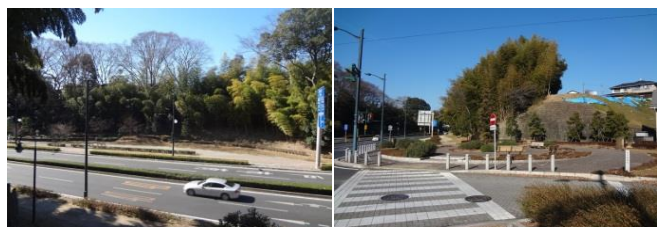
①ミュージアムストリート

パフォーマンス空間とARの活用で通る楽しみ

信号機の新設

紀州堀から京成百貨店方面への短絡路の新設

紀州堀の歩道の一部・ポケットパークを活用したパフォーマンス空間



高架橋から望む空にARを利用して映し出されるスカイミュージアム



ものづくりカフェ



クリエイティブ・リンクをつくる
②アトリエ通り

アートタワーを望む道に
アーティストの集まるまちを

1,000
メートル



高台から千波湖を展望で
きる場所の整備



アトリエ・工房などの集積を
促進



クリエイティブ・リンクをつくる
③まなびストリート

学生をクリエイティブ・コアへ誘導する
学びのみち

1,000
メートル



沿道におけるまちかど弘道館
(街路に開けた自習スペース)の
整備



三の丸から弘道館
への誘導

千波大橋北の交差点から誘導する
看板の設置や舗装の改善



クリエイティブ・リンクをつくる
④グリーンライン

自然を楽しみながら歩ける散策路

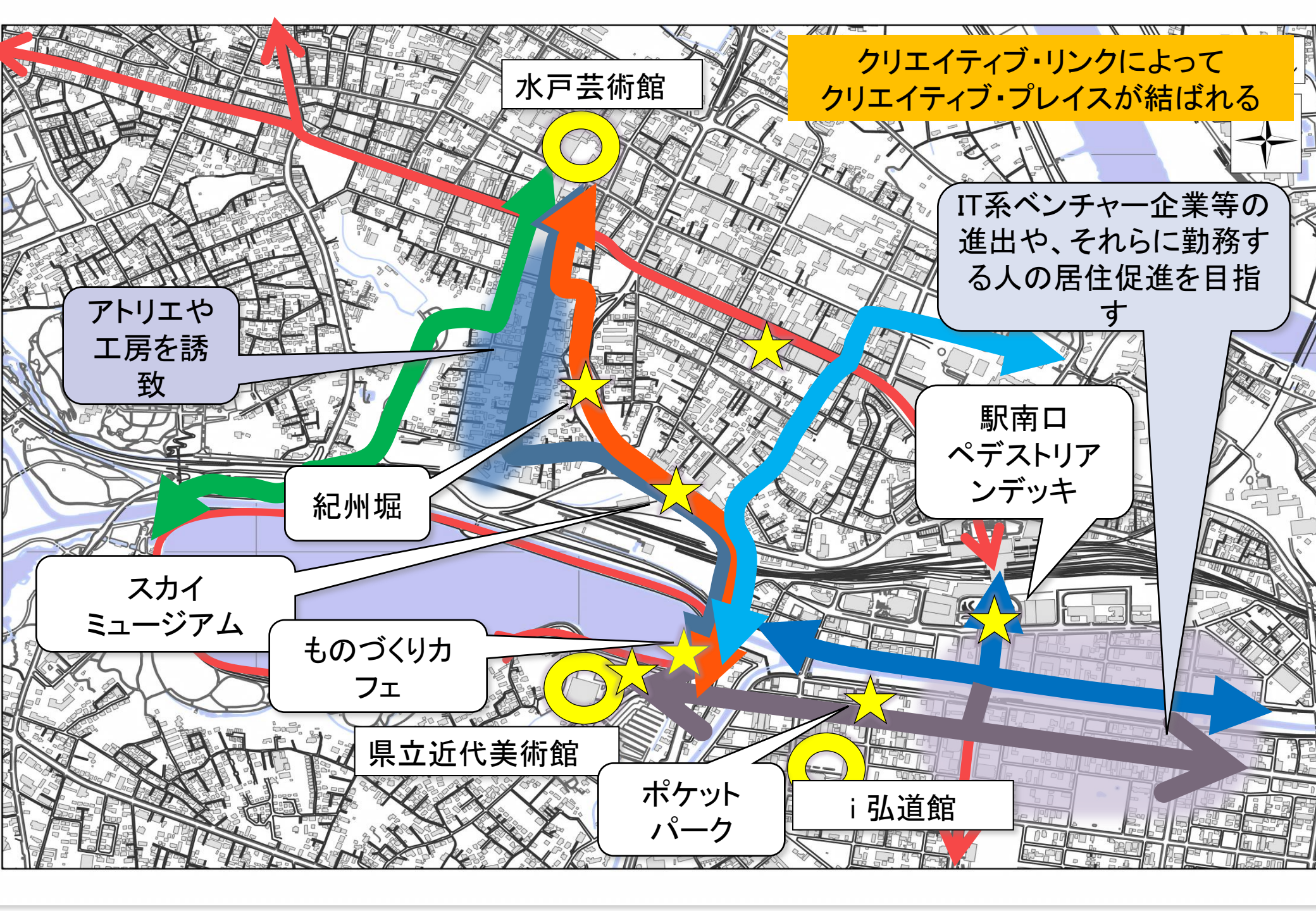
西の谷南側の駐車場の
一部緑地化

西の谷への誘導：看板、舗装の
変更、花を植える



常磐高架橋へ短絡する歩行者路
(階段)の整備





クリエイティブ・リンクによって
クリエイティブ・プレイスが結ばれる

IT系ベンチャー企業等の
進出や、それらに勤務する
人の居住促進を目指す

アトリエや
工房を誘致

駅南口
ペDESTリア
ンデッキ

紀州堀

スカイ
ミュージアム

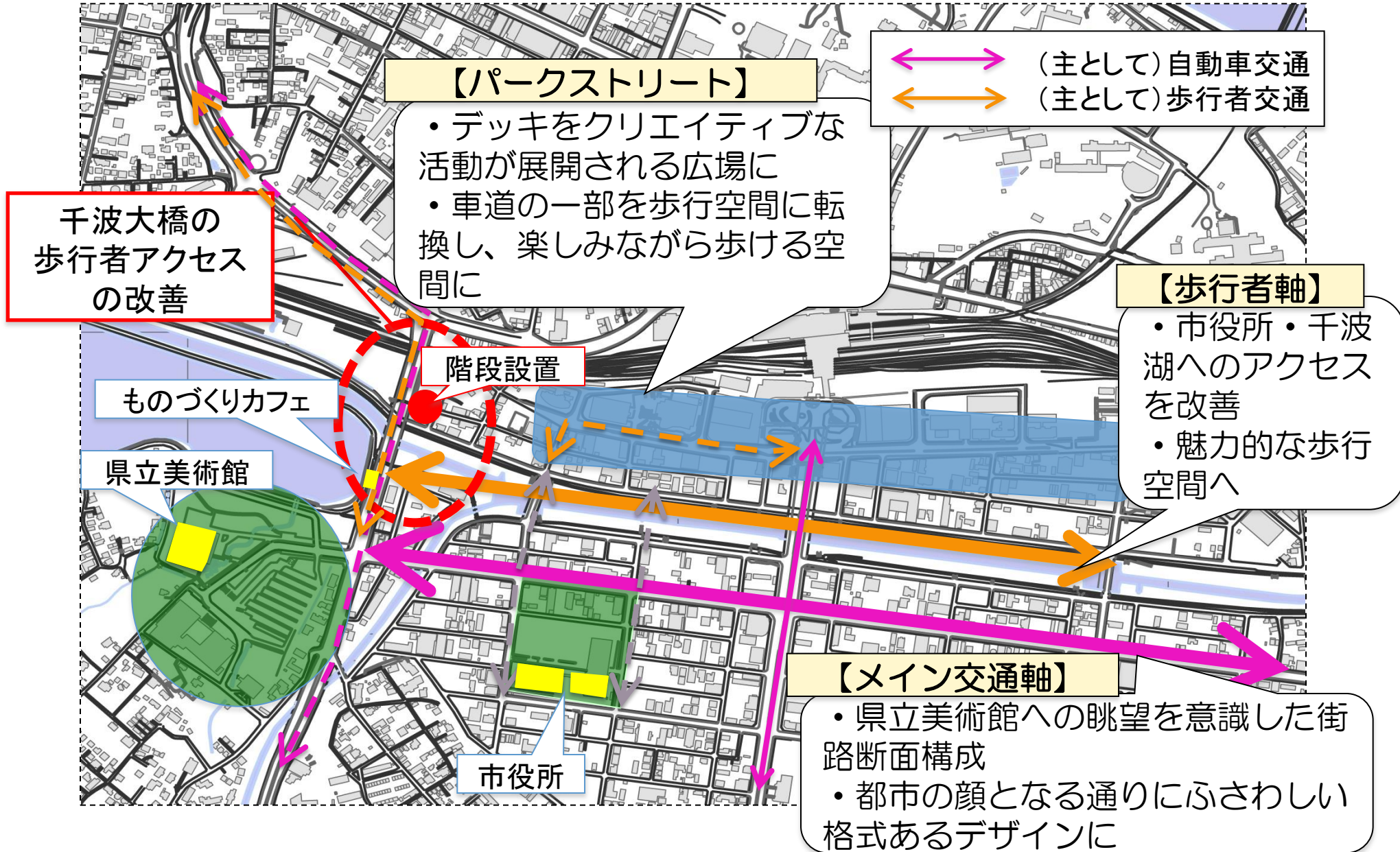
ものづくりカ
フェ

県立近代美術館

ポケット
パーク

i 弘道館

クリエイティブ・コアへのアプローチをデザインする



駅南口デッキ



駅南口デッキ<イメージ図>



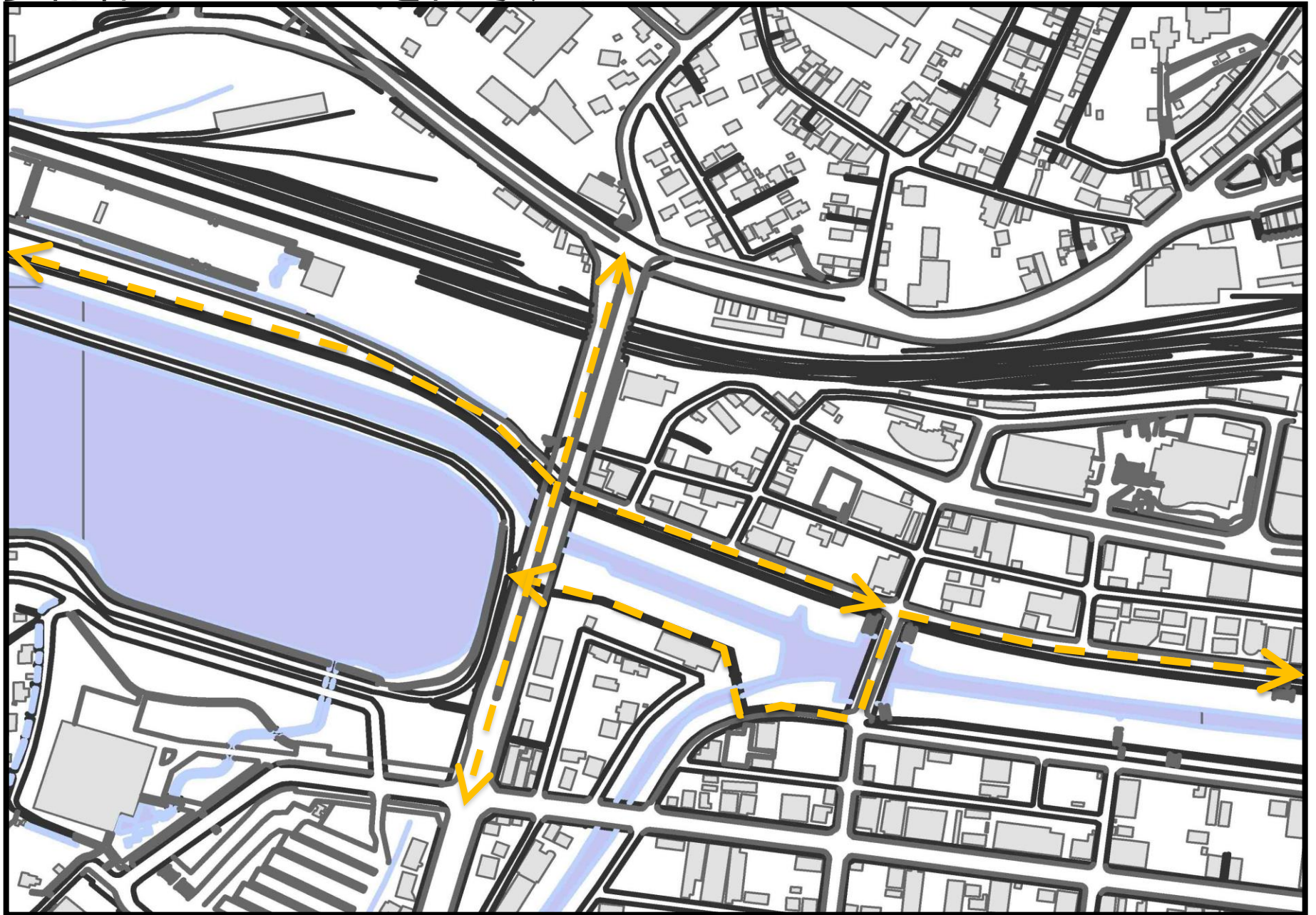
駅南口通り



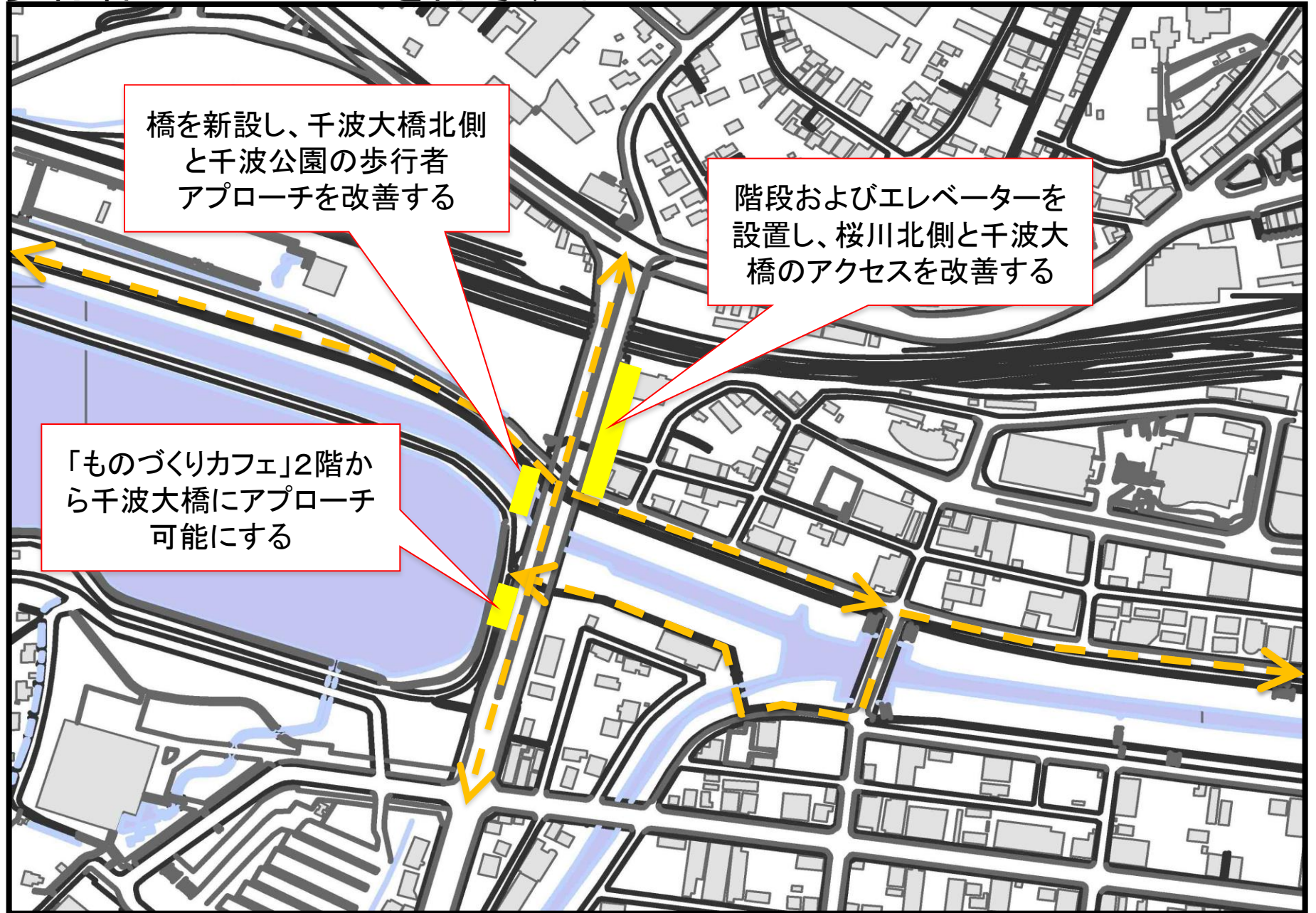
「パークストリート」＜イメージ図＞



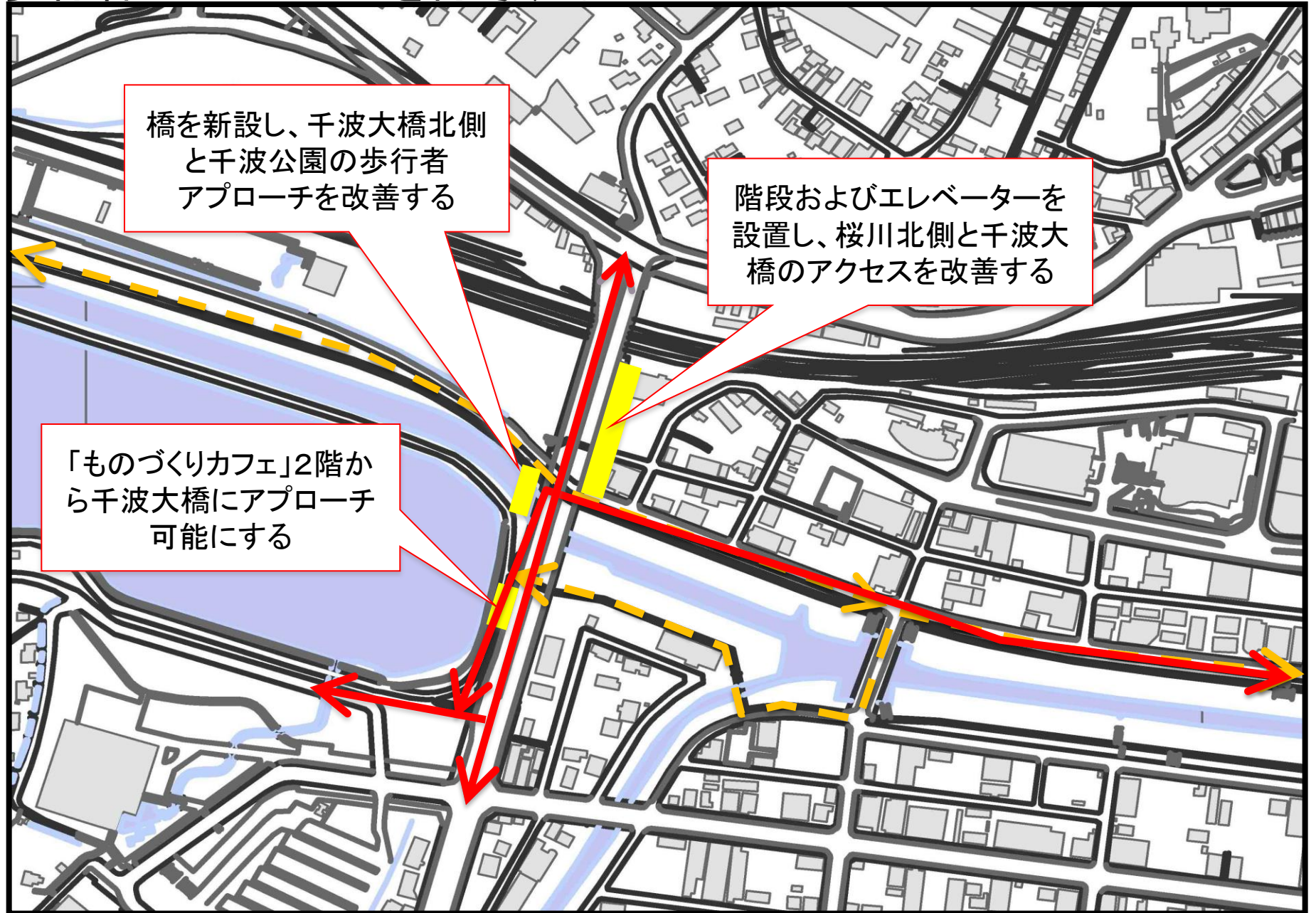
歩行者のアプローチを再考する



歩行者のアプローチを再考する



歩行者のアプローチを再考する





「歩行車軸」＜イメージ図＞



駅南通り



「メイン交通軸」＜イメージ図＞



4ー2. クリエイティブ・コア









都市の顔としてビスタを意識した整備を行う
また千波湖とのアクセスをよくする
そうすることで様々なクリエイティブな活動を行える空間が生まれる













こどもみらいパネル

県立近代美術館の横につくる小学生の作品を展示するパネル。

作品は入れ変わっていくが、スマートフォンを掲げると過去に展示していた作品を見ることができる。

このような仕組みは市内様々なところで多様なバリエーションがある。

例えば、千波湖に植えた木々の成長の様子を追えたり、ベンチをつくる様子を観察できたりする。

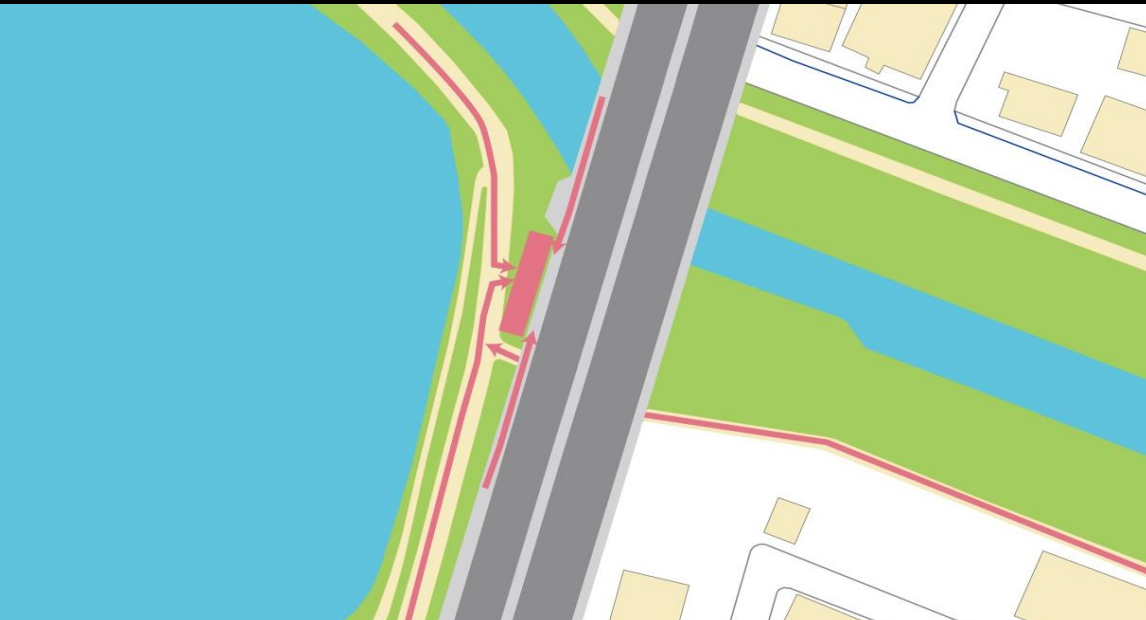






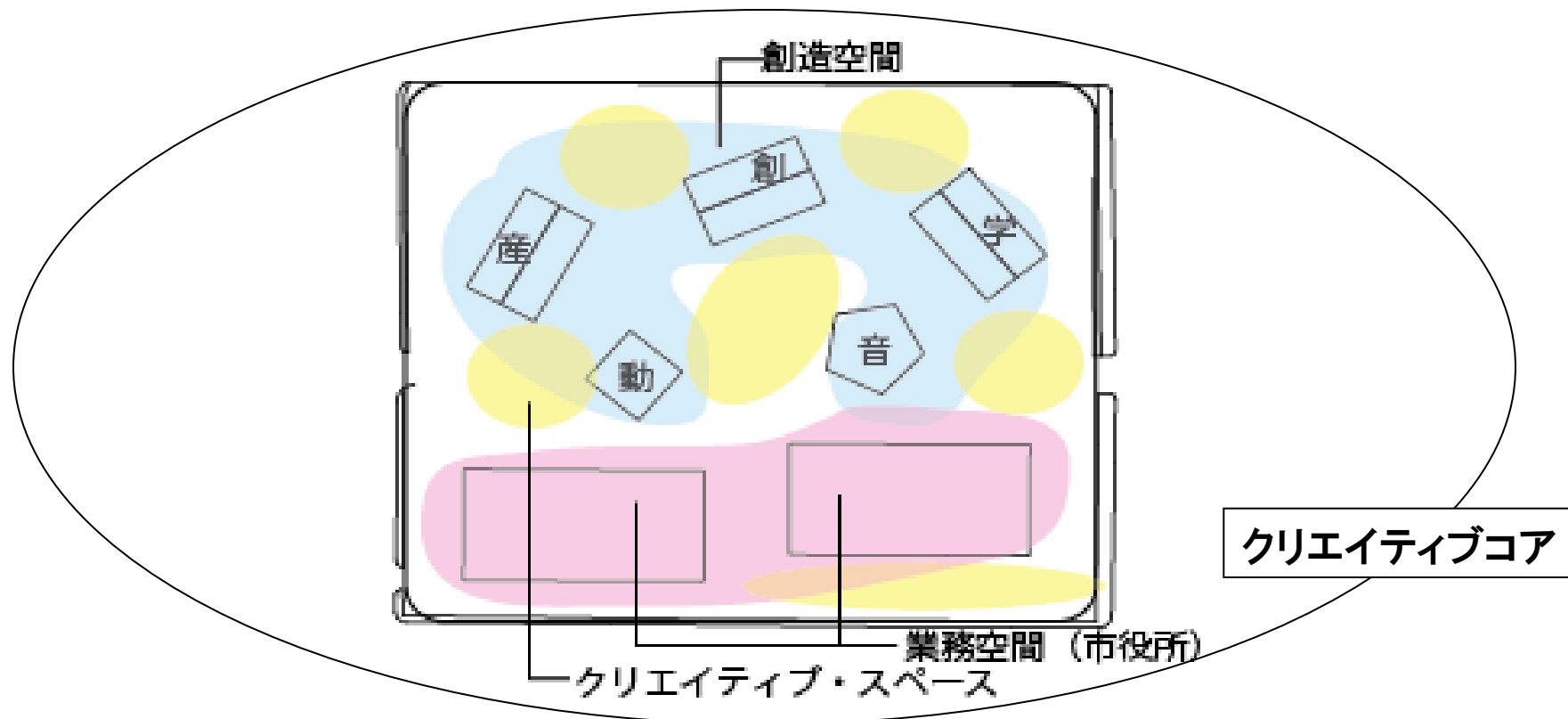
ものづくりカフェ

3Dプリンタや工具などを揃えたカフェ。
ものづくりのノウハウを学んだり、ものが
できる過程を観察できる。
高校生とデザイナーとのコラボレーション
などプロとアマチュア、年代などを越えた
交流が起きる。
大型のスクリーンなども備え、過去の作
品や制作過程などを楽しむことができる。



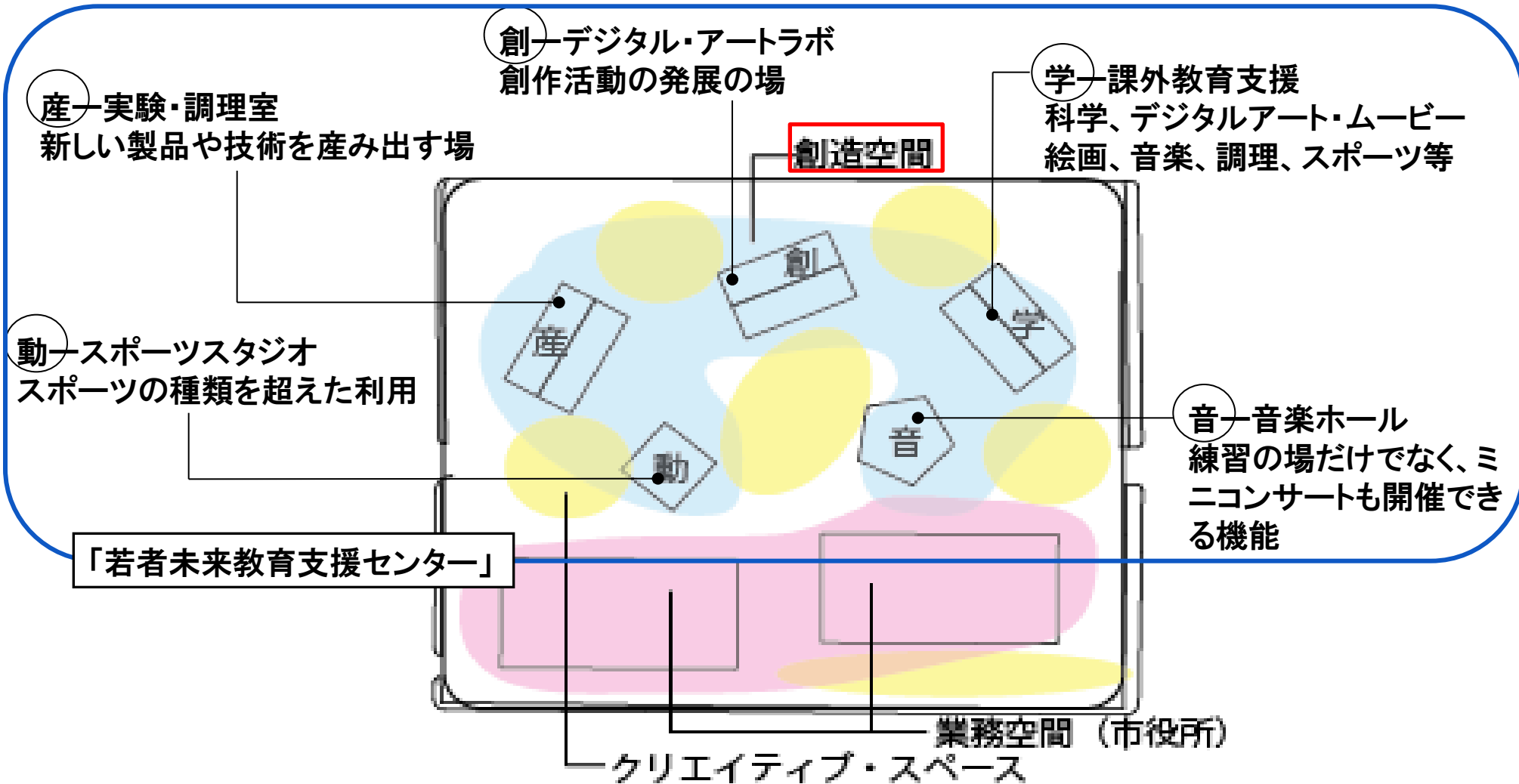
コンセプト

- 幅広い市民が交流できる公共の場を提供し、水戸市の将来を担う若者の活動を積極的に支援しながら市民と共に水戸市の未来を創造する公共の機関を提案します
- 市役所敷地を水戸市のクリエイティブ・コアと位置付け、チャレンジを形にする 創造空間を導入します。
- 創造空間には、教育支援の中心となる「若者未来教育支援センター」、AR等を利用した創造活動をシステムマネジメントする「スマートデザインセンター」の活動拠点を形成します。

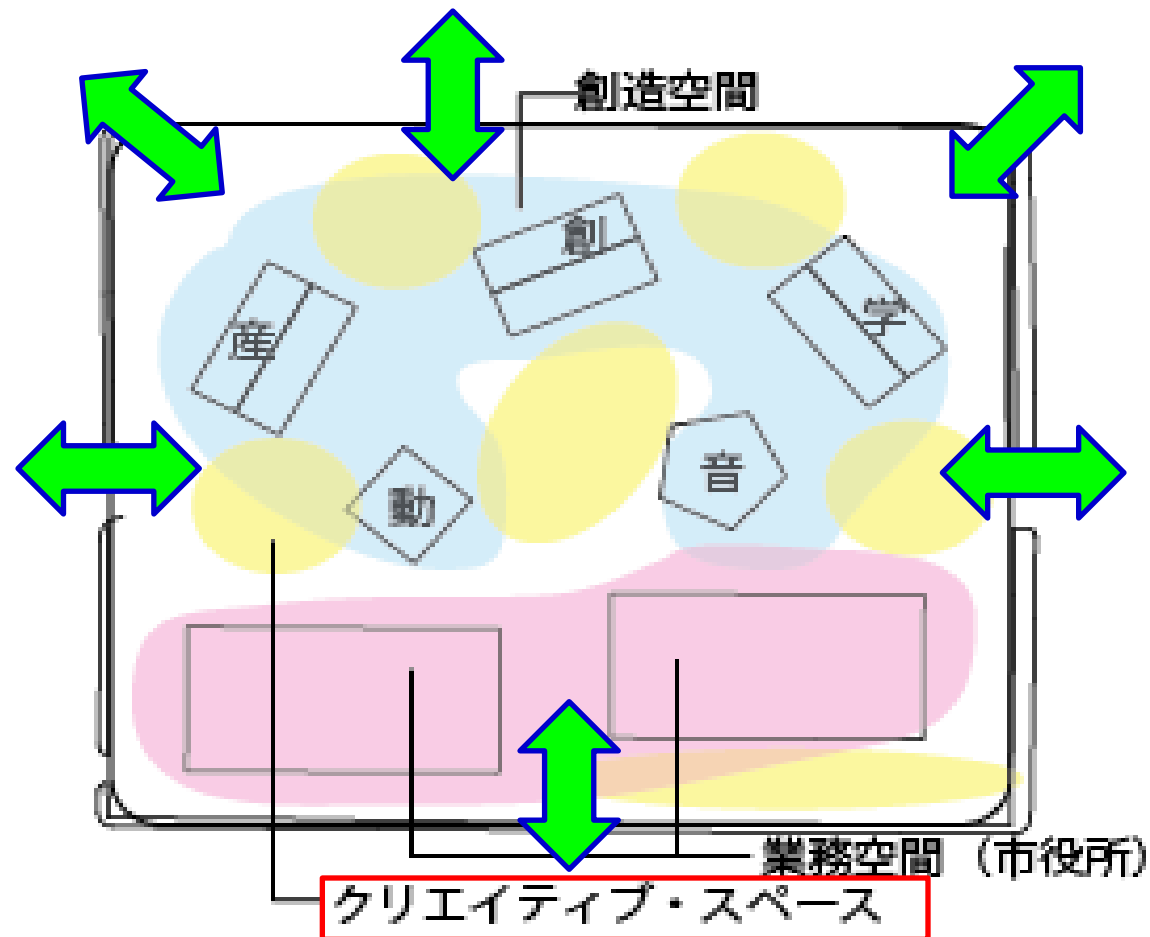


市役所敷地に対する提案

- 創造空間に「若者未来教育支援センター」を導入し、若者の様々な創造活動を支援します。

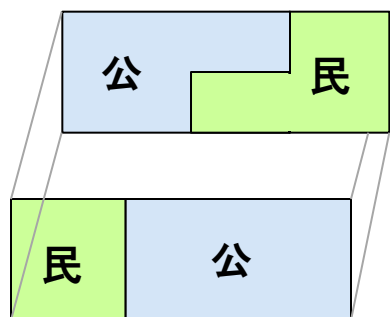


- ・敷地内の建物と建物の間は、若者が自由にパフォーマンスに使えるクリエイティブスペースとして創作活動の発展を促します。自然発生的に活動が起こるよう、敷地内にはどこからでもアクセスできる計画とします

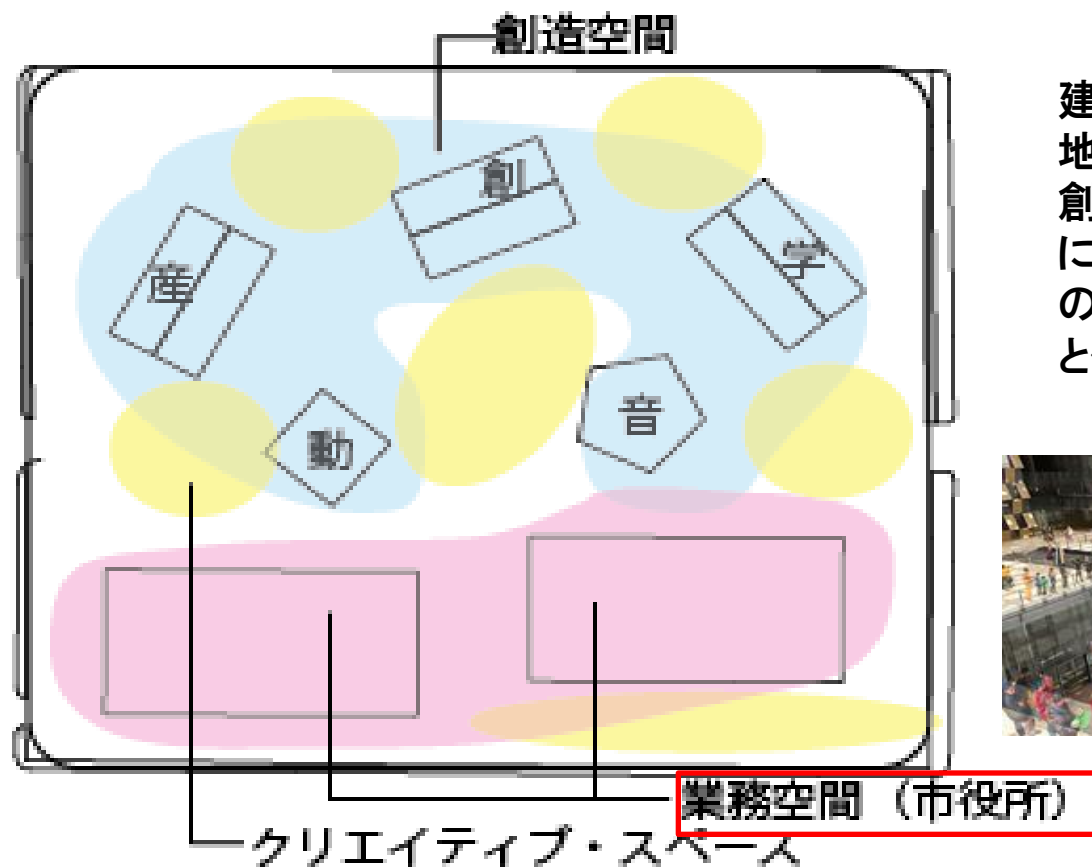


市役所敷地に対する提案 — 市民の居場所の市役所

- ・ 役所としての単一機能だけでなく、多様な人が集い滞在できる居場所を提供し、市民が公平に共同で利用できる市役所を提案します



公と民が入れ子状に重なり合う空間構成とし、市民と共存する公共施設とします



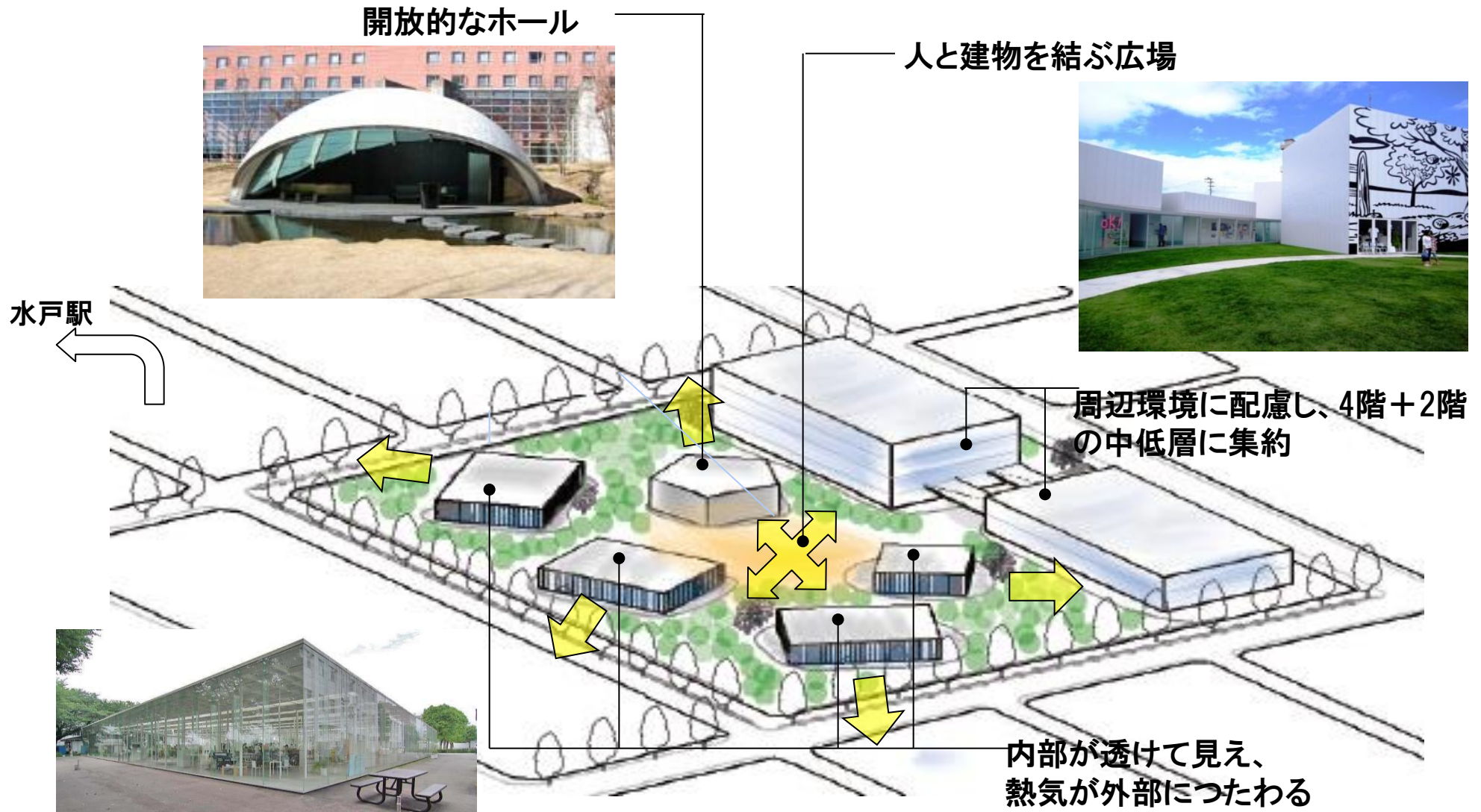
建物内だけでなく、敷地内に点在する若者の創造空間ともゆるやかにつながり、幅広い層の市民を受容する施設と位置付けます



- ・ 楽しくアプローチでき、歩行者・自転車でもアクセスしやすい動線を新たに導入します



内部の活動が外からも垣間見ることができ、周辺の人々もその活動の一部になるような、空間のゆるやかなつながりを目指します



実験・調理室



スポーツスタジオ



クリエイティブ・スペース(CS)



デジタル・アートラボ



課外教育支援



音楽ホール



5. 運営システム

- ・ 創造空間と創造活動を支えるシステム、拠点としての「i 弘道館」を提案する。
- ・ 「i 弘道館」は、創造活動の支援と、人的資源の育成の2つの機能を持つ。
- ・ 2つの機能により、市内に散在する創造空間を連携、マネジメントして、都市全体の創造性を支える。

i 弘道館

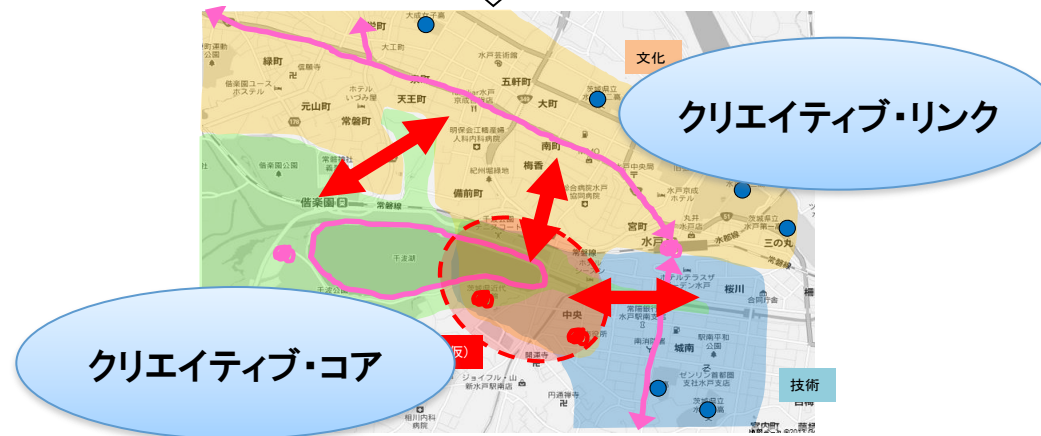
スマートシティセンター (AR・MR)

- ・ イベント、公演ポータル機能
- ・ ARプロデュース
 - ・ ライブパフォーマンス
 - ・ 生活文化 ...

若者未来支援センター (学習・体験・技術)

- ・ 実験・調理室
- ・ デジタル・アートラボ
- ・ スポーツスタジオ
- ...

マネジメント



- 個別の空間と連携した、創造活動のテーマを企画団体(芸術館など)が提案する。
- まちなかでの活動をアーカイブ化し、まちなか空間でARとして体感できるようにする。

企画

- 企画団体(芸術館、青年会議所など)が
- 創造活動やイベントのプロデュースする

創造

お祭り



ストリートパフォーマンス



コスプレイベント



体感

- 活動をサーバへアーカイブ化
- まちなか空間でARを体感
- Webポータルから一覧で見られるようにする

仕組みを実現するための体制

- ・ 技術的な部分については、IT企業と連携し、システムを構築・運営する。
- ・ PFIなどの制度を活用し、公共用地に立地する店舗からの賃料により、運営費用を賄う。
- ・ 教育・ITを軸として水戸で開発したシステムを、常磐地域の周辺市町村へ広げ、地域全体の魅力を高める。

